



# 広島県庄原市・四川省綿陽市 友好都市交流20周年

庄原市は、中華人民共和国四川省綿陽市との間で国際友好都市交流事業を行っています。本年度は、平成2年に旧庄原市と綿陽市との間で「経済技術友好協力協定」を締結して20周年を迎えることから、記念事業を実施します。

## 中国四川省綿陽市

**綿** 陽市は、中国の内陸部、四川省の北部に位置し、四川省の省都である成都市から北東へ約91キロの距離にある成都に次ぐ四川省第二の都市です。

面積は、2万249平方キロ、人口

は約530万人、長虹電子グループに代表される電子工業の街です。歴史にも古く、三国時代には、漢中と蜀とを結ぶ重要な場所であり、三国志関連の史跡なども多くあります。また、唐代の詩人李白など文学者ゆかりの地でもあります。



- 位置 中華人民共和国西南地区の四川盆地北部(四川省の省都である成都から91km車で約1時間半)
- 面積 20,249km<sup>2</sup>(広島県の約2.4倍、庄原市の約16.2倍)
- 人口 約530万人
- 地形 西北部は山地と丘陵地一般の高度海拔500m以上、中部と東南部は浅い丘陵平均海拔500m以下
- 気象 亜熱帯気候 冬温暖で霜期は短い。春の訪れは早く夏は長い。年平均気温は約16℃。年間降雨量は約980mm程度
- 主要農産物 水稻・小麦・絹・柑橘・りんご・油料作物など

を開催しました。

また平成16年には、庄原市市制施行50周年記念事業として、食彩館しゅうばら「ゆめさくら」で四川料理フェア・中国物産展を開催し、市民をはじめ多くの方が綿陽市の文化に触れることができました。



平成11年(1991)庄原市から初めての青少年訪問団が綿陽市を訪問

## 交流経過

| 年度           | 主な出来事   |
|--------------|---|
| 昭和58年(1983)～ | 農業者大学校への農業技術研修生の受け入れ  |
| 平成元年(1989)～  | 広島県立大学留学生の受け入れ  |
| 平成2年(1990)   | 四川省歌舞劇院庄原公演を実施<br>雷副市長を招聘し、庄原市で「経済技術友好協力協定」を締結                                      |
| 平成3年(1991)   | 公式相互訪問の開始(庄原市から市長を団長に17人が綿陽市を訪問)  |
| 平成8年(1996)   | 青少年相互訪問など友好協力事業を確認  |
| 平成11年(1999)  | 青少年相互訪問の開始  |
| 平成12年(2000)  | 友好協力協定締結10周年記念式典の開催(庄原市)<br>綿陽市文化芸術団公演開催(庄原市)<br>綿陽市友好小学校(綿陽市)、中国風友好休憩施設富楽(庄原市)を建設※ |
| 平成16年(2004)  | 庄原市市制施行50周年記念事業 四川料理フェア・中国物産展開催   |
| 平成20年(2008)  | 四川大地震発生に際し、募金活動を実施して義援金を贈呈  |

※建設資金の一部を双方が寄贈。「中国風友好休憩施設 富楽」は翌平成13年に落成。

## 四川大地震の発生

**平** 成20年5月12日に四川省成都の北西にある汶川(ワニ)でマグニチュード7.5の地震(四川大地震)が発生しました。この地震により綿陽市でも多くの方が被害に遭われ、また多くの建造物が倒壊しました。庄原市では、地震直後から街頭募金などを行い、市民の方をはじめ市内団体などから寄せられた義援金を、地震復興の資金として綿陽市政府と綿陽市友好小

## 経過

**昭** 和59年9月17日に広島県と四川省が姉妹都市締結を行いました。また旧庄原市においても昭和58年から農業者大学校の農業技術研修生の受け入れ、平成元年から広島県立大学留学生の受け入れなどを行っていました。



平成2年(1990)当時の雷副市長を招聘し、経済技術友好協力協定を締結

こうした市内農業者との四川省交流の実績を踏まえ、市民の交流気運が醸成される中で、県と四川省を通じ、友好都市の候補として綿陽市を紹介を受け、平成2年9月29日に当時の綿陽市の雷副市長を庄原市へ招聘し、経済技術友好協力協定(以下「友好協定」)を締結しました。また平成8年5月には、青少年の相互派遣などの交流について協議確認を行い、平成11年から青少年相互訪問を実施しています。平成17年の1市6町による合併では、

学校へ贈呈しました。このことは、綿陽市内でもマスコミに報道され、庄原市民の綿陽市復興を願う気持ちを確実に伝え、両市民の相互理解と信頼をより一層深めることができました。



平成20年(2008)四川大地震が発生し、綿陽市に大きな被害を及ぼした

## 20周年記念事業の開催

**本** 年度は、友好協定を締結して20周年の節目を迎えます。これまで積み重ねてきた交流の歴史と成果を両市民で共に祝い、今後ますます友好協力関係が推進されるよう、両市で記念事業を行います。9月20日には綿陽市で記念式典が開催されることから、市長を団長とする公式訪問団と、庄原市日中親善協会を中心に市民の方で編成される市民友好訪問団を派遣し、記念式典など公式行事に出席する予定です。また10月には、綿陽市から文化芸術団を招き市民会館で公演を行う予定です。多くの市民の皆さんが綿陽市の芸術文化に触れる機会となり、交流と親睦がより深まることを期待しています。

国際交流事業として新市に引き継ぐことで合意され、現在まで継続して交流を行っています。



平成3年(1991)協定締結後、初めての相互訪問に向かう公式訪問団

## 交流の実績

**友** 好協定に基づき、今日まで庄原市と綿陽市は相互理解に努め、友好活動を展開しています。平成21年度までに公式訪問団などの相互訪問も38回を数え延べ330人が両市で交流し、平成11年から開始した青少年相互訪問も6回実施され、両市の児童、生徒・教師ら106人が交流を行っています。

平成12年には、友好協定締結10周年記念事業として、庄原市の上野池に中国風休憩施設「富楽」、綿陽市に「綿陽市友好小学校」を建設し、庄原市で記念式典と綿陽市文化芸術団の公演



平成21年(2009)、孫副市長を団長に公式訪問団が来庄。20周年記念行事について協議を実施

## 今後の交流

**国** 際化が進む中で、異なる文化や歴史を持つ人々との触れ合いを通じて、国際感覚を養うことはとても大切です。市民レベルでの交流・親睦の積み重ねが、相互理解・信頼を深めることとはもちろん、特に青少年分野の交流は、市の将来を担う人材育成の面からも、その影響と期待は大きなものです。庄原市では、友好の絆で結ばれた両市の関係が未来に向け発展するよう、今後も国際交流事業を推進していきます。

## 募集

友好協定締結20周年を記念した式典などへの公式行事に参加する市民友好訪問団員を募集します。詳しくはお知らせコーナー(27P)をご覧ください。

平成16年(2004)庄原市市制施行50周年記念事業として「ゆめさくら」で四川料理フェアを開催



平成12年(2000)友好協定締結10周年を記念し、綿陽市へ綿陽市友好小学校を建設



平成12年(2000)友好協定締結10周年を記念し、庄原市で記念式典と綿陽市文化芸術団の公演を開催